

本号のテーマ : 「with コロナ ～継続～」

○ はじめに

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス感染拡大がまだまだ収まる気配を見せない中ですが、新年を迎え身も心もリフレッシュして節目の時を過ごしたいものです。

「with コロナ」は続きます。安心安全で有効なワクチン開発など、期待を寄せながらも感染拡大防止対策は改めて徹底して前へ進んでいきましょう。本号が少しでもその応援歌になればと願っています。

○ 「with コロナ」でがんばる子どもの姿から ～昨年の運動会でのこと～

平根小学校の近くに我が家の畑があります。校庭から大声で叫べば会話だって成り立ってしまいそうな距離です。

昨年9月19日、土曜日のことでした。同校では、コロナ対策から半日開催とした運動会が開催されており、スピーカーから流れる進行の様子は畑作業をしていた私の耳にもよく届きました。今年は何の学校でも来賓への案内を控えたので、私は畑で「実況放送」を楽しんでおりました。

お昼が近づいて、閉会式での児童代表のことばが流れてきました。児童会長三石さんによる総括でした。その後半、感極まって涙ぐみながら一生懸命紡ぎ出す言葉に、私も涙せずにはいられませんでした。作業時にいつも首に巻いているタオルはこういう場合にも役立ちました。

本人の許可を得ていますので、次に紹介させていただきます。





きる社会でなくてはなりません。

日常の各自の感染予防行動を改めて徹底することに加えて、皆が感染者の気持ちになれる温かな心をもっていたいものです。そして、繰り返しになりますが、一日でも早く有効なワクチン・治療薬が使えるようになってほしいですね。